

環境先進都市に向けた政策の推進について（改訂継続）

地球環境への関心が日を追うごとに高まっている中、低炭素社会の実現に向けて温室効果ガス的大幅削減などへの取り組みとして、行政と企業が果たすべき役割と責任は、今日の社会問題として非常に大きなものがあります。

桐生市におきましても群馬大学工学部（現理工学部）の「地域力による脱温暖化と未来の街－桐生の構築」構想が平成 20 年 9 月に科学技術振興機構（J S T）の事業として採択されたことを契機として、産学官が一体となって脱温暖化対策・エネルギーに関する諸環境施策に取り組んできたところでありますが、平成 27 年 3 月には、桐生市の地域特性やまちづくり、環境問題への取り組みなどを踏まえた「環境先進都市」を目指しての 30 年後の将来像を示した「桐生市環境先進都市将来構想」が策定されました。今後は当構想に基づき環境先進都市に向けた環境整備の具現化を目指していただくと共に、特に以下の案件について強力に推進されますことを要望いたします。

1. 環境先進都市を目指しての地産地消の再生可能エネルギー（潜在水力による B 級電力・木材屑等ペレット燃料・里山資源エネルギー等）導入による低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりの推進
2. 花と緑があふれたまちなかストリートの整備促進
3. 街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備促進

【桐生市からの回答】

1 地産地消の再生可能エネルギー導入による低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりの推進について

環境先進都市の実現を目指し、関係各部署による様々な取組を推進しておりますが、地球温暖化対策の一環である再生可能エネルギーの導入は、重要な施策として注目されております。

本市の豊かな自然を保護しながら、本市に合った再生可能エネルギーの導入施策について更なる検討・協議を重ね、「桐生市環境先進都市将来構想」で謳う低炭素型並びに省エネルギー型のまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

【回答担当】市民生活部環境課環境都市推進係

2 花と緑があふれたまちなかストリートの整備促進について

街路などの緑化につきましては、「桐生市緑の基本計画」において可能な限り大気の浄化や災害時の延焼遮断効果などに配慮した街路樹を整備するなどとして、これまで新川緑道や新川公園を中心とした水と緑のネットワーク形成を進めてまいりました。今後、既存の街路樹や街区公園の適切な管理を行うとともに、うるおいのある緑化空間の創出を図ってまいりたいと考えております。

【回答担当】都市整備部公園緑地課緑化推進係

3 街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備について

本市におきましては、市内全域で約3,000か所のごみステーションがありますが、桐生地域では狭隘道路も多く、約半数が道路や歩道上にごみ袋を直接置く方法となっております。また、これらごみステーションの設置から維持管理につきましては利用者をお願いしているところです。

御要望の街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備については、箱型のごみ集積施設の設置などが考えられますが、ごみステーションの約半数が路上にある現状を踏まえますと、設置場所の確保や交通事情など課題が多くあるものと考えております。

このような状況の中、本市としましては、本町通りなど市街地においては、なるべく早い時間帯でのごみ収集を行っているところです。

今後につきまして、箱型のごみステーションの設置に関する相談を受けた場合には、街並みや景観に配慮していただくようお願いしてまいりたいと考えております。

【回答担当】市民生活部清掃センター清掃係